



# 蔵盛塾通信

第16号平成23年2月20日発行

塾長の蔵盛です。メッチャ忙しいです。年末から3月までに、やることが山ほどあります。

### もう終わった仕事

2学期期末テスト対策 新年度の準備	中3冬期講習 募集広告作成	センター試験対策 年賀状作成(?)	保護者面談
----------------------	------------------	----------------------	-------

### これからの仕事


国公立大学2次試験(2月25日)対策 公立高校入試(3月8日)対策	学年末テスト対策 新年度の生徒募集	新中1準備講座 確定申告
--------------------------------------	----------------------	-----------------

忙しいこと、大好きです！ どんなに忙しくても“生徒のため”と思えばがんばれます。


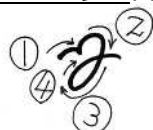
私はとても運がいいと思います。それは大好きな数学を教えて、飯が食えるからです。今、学生の皆さんも何か好きなことを見つけて、一生稼げる自分をつくって下さい。この仕事を始めて今年が26年目になりますが、長くやっているといろいろな特殊能力が身に付いてきます。

### 逆さまに文字を書く

まず1年目にマスターしたのが、対面した生徒に教えるときに、相手が見やすいように逆さまに字をかくこと。数字、アルファベット、数学の記号などはだいたい書けます。うまく書くコツ

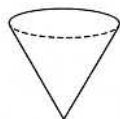
は、書き順どおりに書かないこと。例えば小文字のa、書き順どおりに書くと  です。

でも、これでは書きにくい。だって書き順というのは、普通に書いて書きやすいように決められているんですから。それなら、逆さまに書きやすいように書き順を変えればいいのです。すると

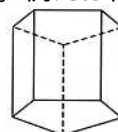
小文字のaは  小文字のbは  となります。

文字、記号の次は図形です。平面図形は簡単です。三角形は逆さまから見ても三角形ですよ。苦労したのが空間図形。特に見えない線を破線(点線)で書くところです。例えば円すいはこう

なります。



これはまだ簡単！ 五角柱はこうです。



初めの頃はどの線を破線にすればよいか、わからず苦労しました。そこで私が思いついたのが、立体を逆さまにして底面を天井に貼り付けて、下から見上げるとわかりやすいということです。ですから私の頭の中には逆さまになった円すいや五角柱が天井からぶらさがっているのです。(ちょっと怖いかも)

## 間違っているところが光って見える

5年くらい経つと、生徒の間違っているところが、蛍光ペンでマークしたように光って見えるようになりました。(ほんまかいや!)私の数学の授業は個別に指導していくことが多いので、瞬時に生徒の間違いが見つけられないと困ります。ある生徒を2、3回指導すると、その子の能力、性格、特徴などが私の頭の中にインプットされます。そして、その日に学習する内容と照らし合わせると、その生徒がどこで間違えるかが予想できるのです。そうすると、間違っている箇所が、あたかも蛍光ペンでマークしたように光って見えるようになるのです。

## 念力

そして最近になって、ついに私は恐ろしい能力を身に付けました。それは念力です。(どんなやねん!)それを今から説明します。

これは中1の授業中に実際にあった怖い話です。A君はいつも通り数学の問題を解いていました。

① 次の計算をせよ。

$$(1) (-3x + 7) - (5x - 2) \\ = -3x + 7 - 5x \dots$$

↳ ここでA君の手が止まっていました。

A君の心の中: えーと、( )をはずすときは、マイナスとマイナスの場合はどうだっけ?

そういえば、先生がさっき何か言ってたなー。

[その時私が、A君の前に移動する]

A君の心の中: あっ、先生が来た。やばい!間違えたら  
しばれる!(そんなことはありません)

私の心の中: さっき説明したやん!マイナスとマイナス  
の時はプラスやる!



ここで以前の私だったら「マイナスとマイナスの時はどうなるの?」と指導していました。

しかしその時には何も言わないで、『**マイナスとマイナスだからプラス**...』と心の中で強く念じてみました。そうすると何とA君が**+ 2**と書いたのです。

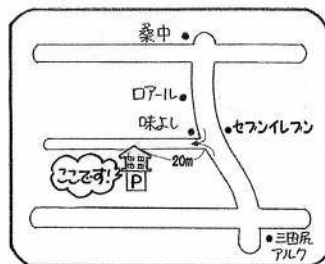
私の心の中: **おー念力が通じた!!**

ついに何も言わずに指導できるようになったのです。もちろん私に念力なんてありません。私の熱い思いが、A君の心の底に眠っていた“先生の説明を思い出して自分で考える”という意識を目覚めさせたのです。これからはさらにパワーアップして、塾内だけでなく、学校のテスト、さらには入試の本番のときにも、この力が及ぶようにしたいと思います。とりあえず、2月25日と3月8日に蔵盛塾の受験生全員が力を発揮できるように念じてみます。がんばれよー。

くら もり ひゅく  
**蔵盛塾**

お問い合わせは、お気軽に!

**0835(26)0800**



防府市鞠生町7-25

